

## 文化財とその周辺を守る防災水利モデル整備について

## ○ 目的

文化財とその周辺を守る総合的な震災対策の一環として、平時の火災はもとより、震災時の大火に対しても消火・延焼防止を行うことができる新たな防災水利を整備し、地域の方々の生命・身体・財産を火災から守るとともに、地域の防災力の向上を図ることを目指しています。

## ○ 経緯

平成 7 年 阪神・淡路大震災の教訓（＝水不足、市街地大火など）

平成 13 年 京都市防災水利構想の策定

平成 15 年 震災消防水利整備計画の策定

内閣府：「災害から文化遺産と地域をまもる検討委員会」設置

平成 16 年 内閣府：「パイロットプラン（清水寺・産寧阪地域における対策）」提案

国土交通省：「全国都市再生モデル調査」→パイロットプランの具体化案を策定

平成 17 年 京都創生策案に防災水利整備を提言

平成 18 年度国家予算要望で支援制度の創設を提案＝樹本市長が直接消防庁等へ要望



平成 18 年度 国の支援が決定

総務省消防庁：新たな補助メニューの創設 → 1,500 m<sup>3</sup>級耐震型防火水槽

国土交通省：まちづくり交付金の認証 → 耐震型防火水槽以外の施設

## ○ モデル整備の内容 = 予算額：400百万円

特徴：大地震（停電時・水道断水時）にも有効に機能する消火システムの独自整備

1 1,500 m<sup>3</sup>級耐震型防火水槽の整備…1基

整備場所：高台寺公園（京都市所有：3,120 m<sup>2</sup>）

整備面積：約 560 m<sup>2</sup>（公園の地下）

規模等：縦—約 40m・横—約 14m・深さ—約 3.8m

（主な特徴）

- ① 全国で初めてとなる大容量の耐震型防火水槽
- ② 水量は、小学校のプール5個分に相当

## 2 送水ポンプ（エンジン付）の整備…1基

整備場所：高台寺公園（京都市所有：3,120 m<sup>2</sup>）

整備（ポンプ庫）面積：約 40 m<sup>2</sup>

（主な特徴）

- ① 大地震等の停電時でも有効に稼働し、送水する高性能の送水ポンプ
- ② 景観にマッチし、雨水や太陽光の利用など環境にやさしいポンプ庫

### 3 配水管及び市民用・消防隊用の消火栓の整備

整備場所：京都神社参道（下河原通～二年坂付近の間）

整備距離：配水管 約 200m（市民用消火栓：4～6基・消防隊用消火栓：2～4基）

（主な特徴）

- ① 市民の方が安全かつ簡単に使え、景観にマッチした消火栓
- ② 優れた耐震性能を有した配水管（伸縮性：通常の配水管の6倍以上）

### 4 高台寺公園の防災機能の充実について

- (1) 手押しポンプの整備
- (2) 非常放送設備の設置
- (3) 非常電源や太陽光発電による緊急時の電源確保
- (4) 街路灯などの整備

### ○ モデル整備のイメージ



# 工事の状況等

平成 18 年 12 月 22 日撮影



平成18年度 文化財とその周辺を守る防災水利モデル整備範囲図

